

モンゴルの肝細胞癌・肝機能障害患者における HBV・HCV マーカーの検討

東海大学医学部生体構造機能学

静 間 徹

(平成 17 年 6 月 13 日受付)

(平成 17 年 7 月 20 日受理)

Key words : hepatitis B virus, hepatitis C virus, Mongolia

[感染症誌 79 : 824 ~ 825 , 2005]

序 文

モンゴルでは、B 型肝炎ウイルス (HBV)・C 型肝炎ウイルス (HCV) の感染率が高く、一般住民の HBs 抗原陽性率は 6.9 ~ 15.6%、HCV 抗体陽性率は 10.7 ~ 36.3% と報告^{1)~3)}されている。また肝細胞癌の発症が高頻度¹⁾³⁾であることが知られているが、モンゴルの肝細胞癌・肝機能障害患者における肝炎ウイルスの関与については、国内の会議録¹⁾を除いて報告はみられない。今回我々は、ウランバートルの肝細胞癌・肝機能障害患者における HBV・HCV マーカーについて報告する。

対象と方法

ウランバートルの癌センター・国立大学病院において 2002 年 ~ 2004 年の間に肝細胞癌と診断された 90 例と、2003 年 7 月 ~ 2004 年 3 月の間に外来を受診し、transaminase が高値 (AST 41IU/L 以上かつ ALT 36IU/L 以上) であった 28 例を対象とした。また患者の informed consent を得て、その血清検体を本邦へ空輸し、HBs 抗原・抗体は Chemiluminescent immunoassay (CLIA) 法、HBe 抗原は Radioimmunoassay (RIA) 法、HCV 抗体は Immunoradiometric assay (IRMA) 法にて測定

した。

結 果

1. 肝細胞癌患者 90 例のうち、HBs 抗原陽性例は 49 例 (54.4%)、HBe 抗原陽性例・HBs 抗体陽性例は 2 例 (2.2%) であった。また HCV 抗体陽性例は 36 例 (40.0%) で、HBs 抗原・HCV 抗体が共に陰性の症例は 10 例 (11.1%) であった。

2. transaminase が高値であった外来受診者 28 例のうち、HBs 抗原陽性例は 8 例 (28.6%)、HBe 抗原陽性例は 3 例 (10.7%) で、HBs 抗体陽性例はみられなかった。また HCV 抗体陽性例は 18 例 (64.3%) で、HBs 抗原・HCV 抗体が共に陰性の症例は 3 例 (10.7%) であった。

考 察

モンゴルでは HBV・HCV の感染者が多く、肝細胞癌患者の急増¹⁾により、国家規模での肝炎ウイルス防止策がとられており、1991 年から新生児・乳幼児への HB ワクチン予防接種¹⁾³⁾、1993 年から HCV 抗体のスクリーニング¹⁾が導入されている。しかし、モンゴルの肝細胞癌・肝機能障害患者における肝炎ウイルスの関与については、国内の会議録¹⁾を除いて報告はみられていない。

なおモンゴル国内では、慢性肝炎患者における HBs 抗原陽性率は 53.3%、HCV 抗体陽性率は 48.8% と報告¹⁾されているが、transaminase の上

昇例を対象とした我々の検討では、89.3%の症例でHBs抗原またはHCV抗体が陽性であり、肝機能障害患者においては、HBV・HCVの関与が大きいものと推測された。

また肝細胞癌患者については、モンゴル国内の会議録¹⁾にて、HBs抗原陽性率は39.6%、HCV抗体陽性率は68.2%と報告されているが、我々の検討では、HBs抗原またはHCV抗体が陽性の肝細胞癌症例が88.9%を占め、モンゴルの肝細胞癌においても、肝炎ウイルスの関与は極めて大きいものと考えられた。なお今回の検討では、HBs抗原陽性の肝細胞癌症例が54.4%を占めていたが、HBワクチンの普及により、今後はHBV関連の肝細胞癌は減少する可能性が考えられる。また本邦では、HCV関連の肝細胞癌は高齢層に好発するとされているが、モンゴルの平均寿命は本邦より約20年短く²⁾、今回の検討で、HCV抗体陽性例よ

りHBs抗原陽性の肝細胞癌が若干多かった理由のひとつと推測された。

謝辞：御協力頂いたNyamdavaa Khurelbaatar MD., PhD.(National Medical University of Mongolia)に深謝いたします。

文 献

- 1) Oyunsuren T : Viral hepatitis in Mongolia. *Minophagen Medical Review* 2000 ; 45 : 140 - 7.
- 2) Fujioka S, Shimomura H, Ishii Y, Kondo J, Fujio K, Ikeda F, *et al.* : Prevalence of hepatitis B and C virus markers in outpatients of Mongolian general hospitals. *J Jpn Assoc Inf Dis* 1998 ; 72 : 5 - 11.
- 3) Takahashi M, Nishizawa T, Gotanda Y, Tsuda F, Komatsu F, Kawabata T, *et al.* : High prevalence of antibodies to hepatitis A and E viruses and viremia of hepatitis B, C, and D viruses among apparently healthy populations in Mongolia. *Clin Diag Lab Immuno* 2004 ; 11 : 392 - 8.

Prevalence of Hepatitis B and C Virus Markers in Patients with Hepatocellular Carcinoma and Outpatients with Liver Dysfunction in Mongolia

Toru SHIZUMA

Department of Physiology, School of Medicine, Tokai University